

行財政改革及び庁舎建設に関する職員説明会アンケートの主な意見
(課長補佐、係長級以上)

平成 27 年 1 月 6 日

1. 今回の説明会での内容を聞いてどのように感じられましたか。

- ・庁舎建設を進めていく強い意志が感じられた。庁舎の老朽化を考えると少しでも早い建設が望まれます。
- ・我々職員は上司の命により粛々と職務を遂行するのみです。そういった意味で市長のお考えが明確に示され良かったのではないかと感じます。
- ・庁舎が古くなっていくばかり、様々な課題をのりこえ、将来のためには庁舎建設は必要と思われた。
- ・庁舎建設については、職員が一体となって建設に取り組めるよう旧市町の垣根をこえる必要がある。人事問題が足かせにならない様望む。
- ・内容的には簡潔で理解できた。
- ・早急に新庁舎の建設をすべきと考えます。
- ・財政的、スケジュール的にも平成 27 年度から事業を開始しなければならないと思う。
- ・庁舎 1 本化は必然的なものと感じています。
- ・新庁舎へ一気に話が進んでいくのかなと実感した。
- ・やっと具体的に進み出すのかと感じた。
- ・やっと前進していくのかと安堵している。
- ・庁舎統合の必要性が良く分かりました。
- ・具体的なスケジュールを理解できる機会でした。
- ・重要な問題と受け止めました。
- ・もっともな話だと思った。
- ・議決を重要視し、粛々と進めていくことが重要であると感じた。
- ・庁舎問題について、共通の情報提供をうけることができた。
- ・全てにおいて厳しい状況にあると認識できました。
- ・職員 1 人 1 人の意識改革が必要であると感じた。
- ・新庁舎は必要であり、しっかりとした内容を盛り込んでほしい
- ・市が 2 分しない細かな説明会が必要と考える。
- ・財政計画の中に公共財の更新費用がどのくらい含まれているのか不明です。
- ・庁舎建設と総合計画との関係。市街地形成をどのようにしていくのか、将来像が見えない。庁舎統合は必要だと思うので、将来的な計画をあわせて市長に説明してほしい。
- ・組織機構、課・係の配置、人員など 350 人という総数だけではなく、細かな計画も示してほしい。
- ・350 人が現実的な数字であるとは思えません。
- ・場所も決まっている事なので、特に説明する必要はなかったと思います。

2. 行財政改革や庁舎問題に関して、今後、もっと提供して欲しいと思われる情報等がありますか。

- ・ 随時、情報の提供を望みます。(住民アンケートの結果等の情報)
- ・ P14 のスケジュールに沿った3ヶ月ごとの進捗状況の定期的な情報開示を行って欲しい。
- ・ 具体的にどのように市民に説明するのか。どの職員に聞いても同じように説明できる事が重要では。
- ・ 支所の規模・機能をどうするのか。できるだけ縮小すべきと思うが、どのように検討されているのか常に情報提供してほしい。
- ・ 定員適正化の具体的な内容
- ・ 定員適正化計画の変動等
- ・ 職員数減へのスケジュール
- ・ 具体的な財政見込
- ・ 市民から合併特例債を利用すると聞くが合併特例債は借金なのではないか。結局金額の返済をしていかないといけないのではないかと聞かれる。
- ・ 今後、市内の老朽施設の維持管理をどのようにするのか。
- ・ 上司からの情報提供が少ないので、理解しているのかどうか不安である。

3. 本日の感想、お気づきの点など、ご自由に記入してください。

- ・ 市長の強い決意が感じ取れた。
- ・ 共にかんばりましょう。
- ・ この問題は前執行部の不作為で感情的な問題となっているが、職員団結して取り組んでいきたい。
- ・ 庁舎一本化は必要だと考えます。
- ・ 住民に対しては庁舎建設のメリットと庁舎建設しないデメリットを分かりやすくリーフレットで示していくことも考えておくとういのではないか。(ハード面とソフト面の両側面から)。分かりやすい言葉で、例えば「庁舎建設により市民サービスが〇〇〇のように変わります。」等
- ・ 必ず反対意見はあると思うので、質疑の場を設けたほうが良かったのでは。
- ・ 議論を深める機会があると良いと思います。
- ・ 職員が業務を行うのに十分なスペースの確保をお願いします。(会議室、打合せスペース、執務室等)
- ・ 交通対策の検討
- ・ レジメにメモをとるのに、机があった方がよかった。